

テレビスタンド(EEX-TVS042シリーズ)組立説明書

この度は、弊社製品をお買求めいただきましてありがとうございました。
本製品は組立式になっておりますので、下記の要領で組立ててください。
パッキングケースの中には、下記の部品が入っています。

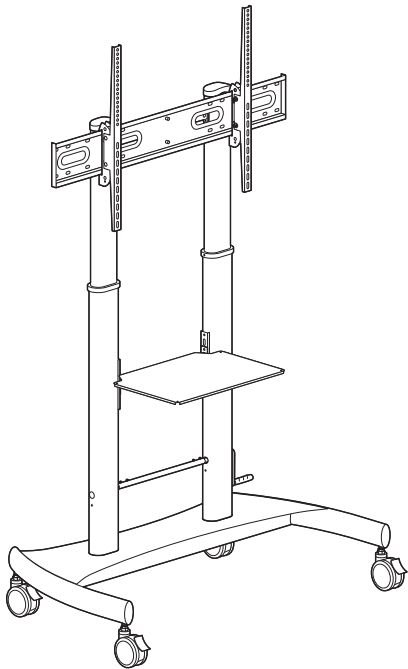
組立説明書は大切に保管してください。

この製品を第三者に貸し出すときは、この説明書も共に貸し出し、よく読んでから使用するようにご指導ください。

Ver.1.0

<用意していただくもの>
手袋(組立て時のケガ等を防ぐために着用をおすすめします)
プラスドライバー、ダンボールまたは毛布

完成図



<注意>

本製品の組立て作業は必ず大人2人以上で行ってください。

<注意>

指などを挟まないように十分ご注意ください。
組立て時のケガ等を防ぐために、手袋の着用をお勧めします。

<注意>

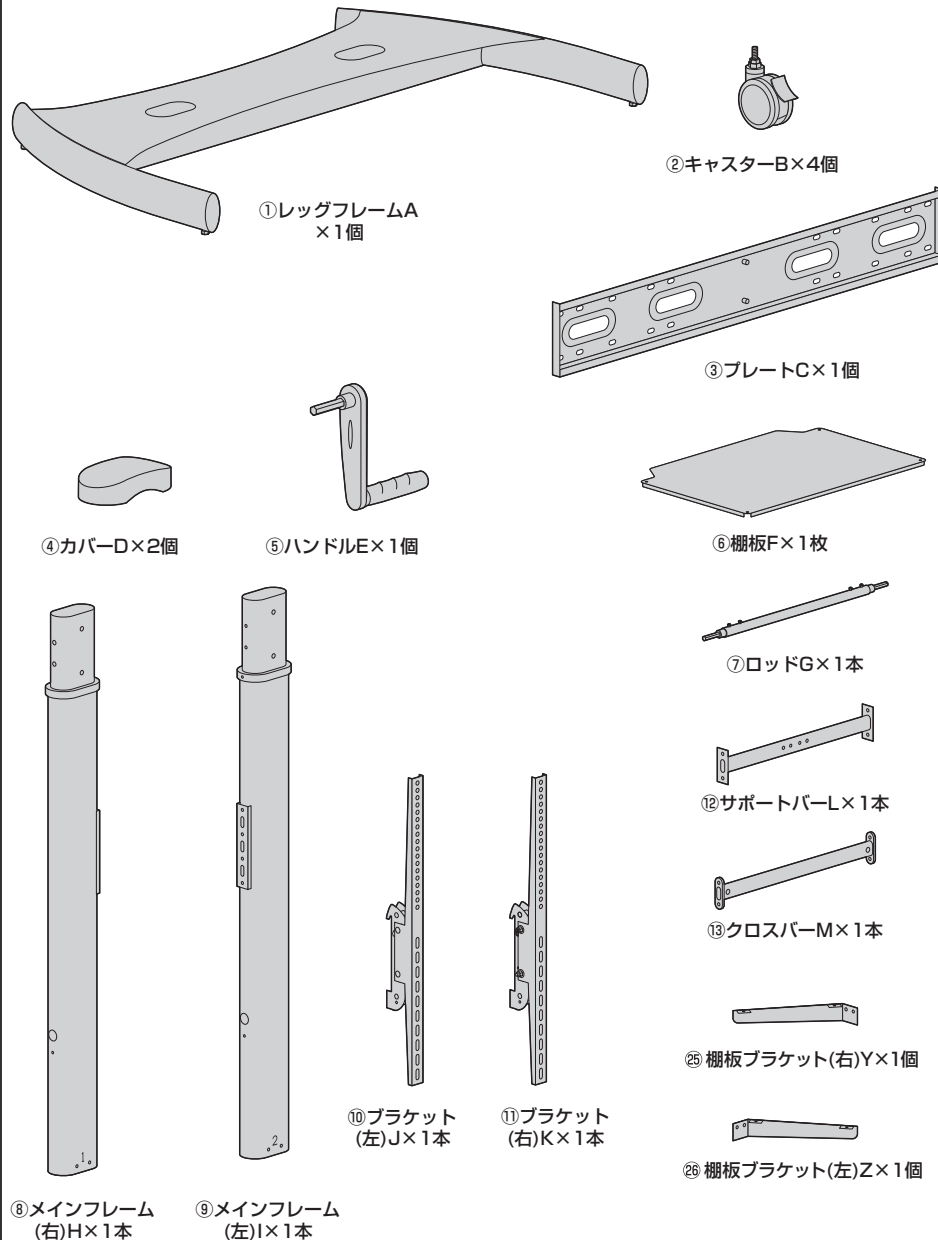
テレビを取付ける時に毛布、プラスドライバーなどが必要です。ご注意ください。

<注意>

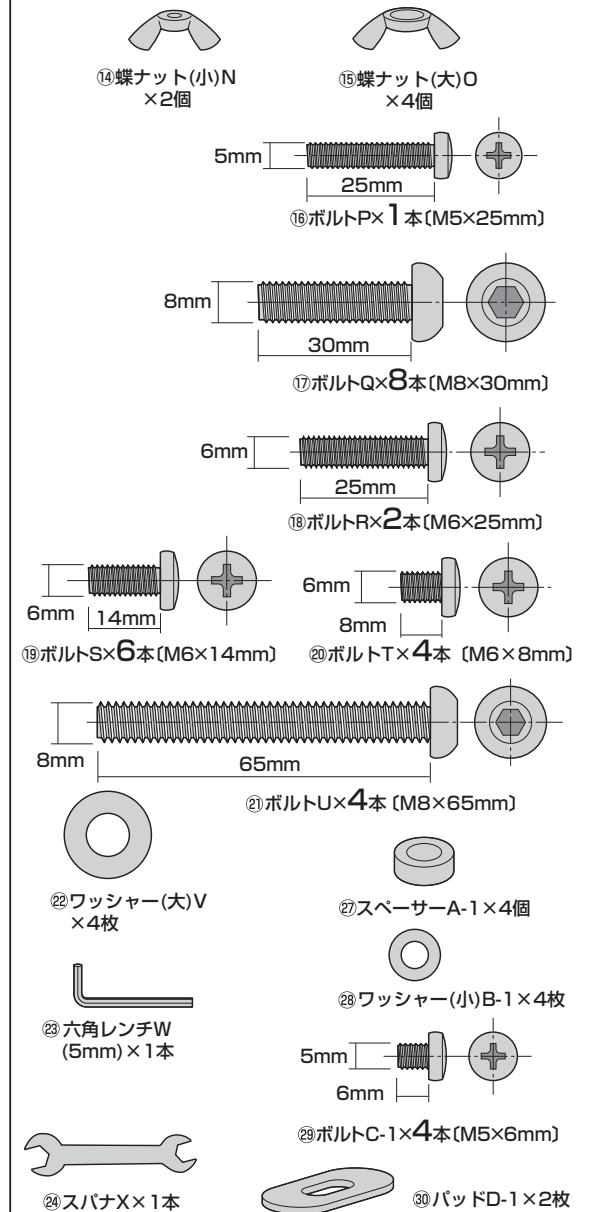
テレビの取付けに適したボルトの長さは各テレビによって異なります。必ずテレビの取扱説明書や、メーカーへの問い合わせなどでご確認の上、取付けるボルトの長さを決めてください。

組立て部品

※部品の欠品や破損があった場合は、品番(EEX-TVS042BKなど)と下記の部品番号(①~⑤⑩)と部品名(ワッシャー(大)など)をお知らせください。

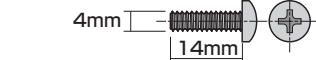


<使用ボルトセット>

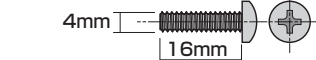


組立て部品

<ディスプレイ取付けボルトセット>



③1 ボルトM-A×4本 (M4×14mm)



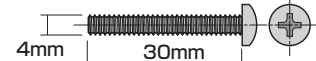
③2 ボルトM-B×4本 (M4×16mm)



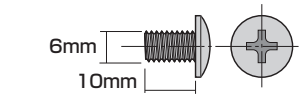
③3 ボルトM-C×4本 (M4×20mm)



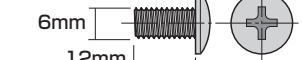
③4 ボルトM-D×4本 (M4×25mm)



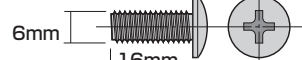
③5 ボルトM-E×4本 (M4×30mm)



③6 ボルトM-F×4本 (M6×10mm)



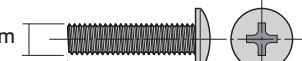
③7 ボルトM-G×4本 (M6×12mm)



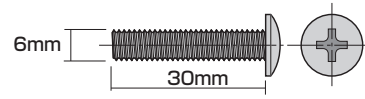
③8 ボルトM-H×4本 (M6×16mm)



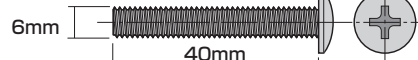
③9 ボルトM-I×4本 (M6×20mm)



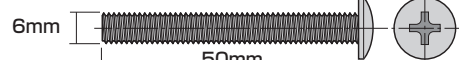
④0 ボルトM-J×4本 (M6×25mm)



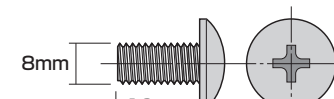
④1 ボルトM-K×4本 (M6×30mm)



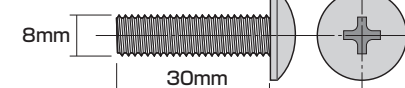
④2 ボルトM-L×4本 (M6×40mm)



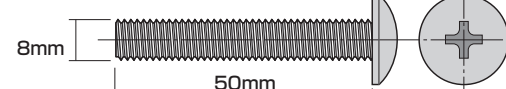
④3 ボルトM-M×4本 (M6×50mm)



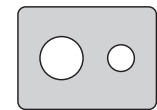
④4 ボルトM-N×4本 (M8×16)



④5 ボルトM-O×4本 (M8×30)



④6 ボルトM-P×4本 (M8×50)



④7 ワッシャーM-Q×4枚



④8 スプリングワッシャー(小)M-R×4枚



④9 スプリングワッシャー(中)M-S×4枚



⑤0 スプリングワッシャー(大)M-T×4枚

<注意>

- ・テレビの取付けに適したボルトをご選定いただき、ご使用ください。
- ・付属のボルトが合わない場合は、強度に十分ご注意の上、市販の適切な太さ、長さのボルトをご用意ください。

1.テレビ背面にブラケット(左)と(右)を取付けます。

<注意>

ボルトが長すぎるとテレビを破損する場合があります。また、ボルトが短すぎるとテレビがしっかりと固定できず脱落する恐れがあります。取付けに適したボルトの長さは各テレビによって異なります。必ずテレビの取扱説明書や、メーカーへの問い合わせなどでご確認の上、適切な長さのボルトを使用してください。

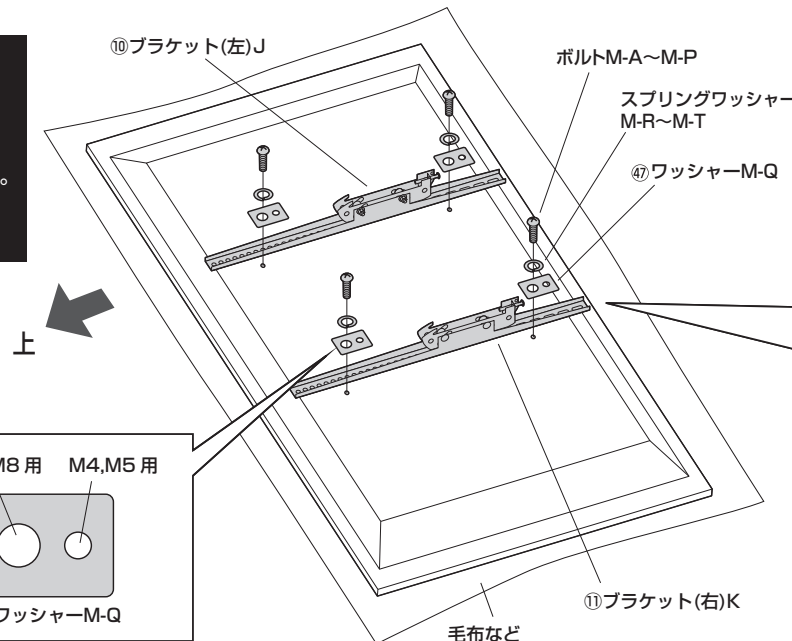
※付属のボルトが最後まで締まらない、またボルトが少ししか回っていないなど、ボルトが合わない場合は、強度に十分ご注意の上、市販の適切なサイズのボルトをご用意ください。

<注意>

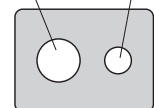
毛布などを下に敷き、テレビへの傷や破損に十分ご注意ください。

<注意>

テレビに付属しているスタンド類は取外してください。スタンド類の取外し方法はテレビの取扱説明書をご参照ください。



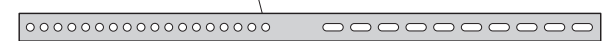
M6,M8用 M4,M5用



④7 ワッシャーM-Q

ブラケット(左)J、(右)Kの取付け位置の注意

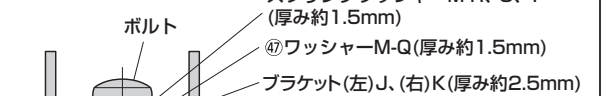
ブラケット(左)J、(右)K



※必ず上のボルトは丸穴を使用してください。

※長穴は下のボルト用です。長穴に上下両方のボルトを留めるとズレ落ちる危険があります。

ボルト選定時の注意



スプリングワッシャーM-R、-S、-T (厚み約1.5mm)

④7ワッシャーM-Q(厚み約1.5mm)

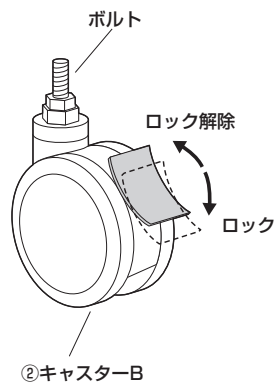
ブラケット(左)J、(右)K(厚み約2.5mm)

ボルトの長さを選ぶ際は、ブラケット(左)J、(右)Kの厚み+④7ワッシャーM-Qの厚み+スプリングワッシャーM-R、-S、-Tの厚みを加味してご用意ください。

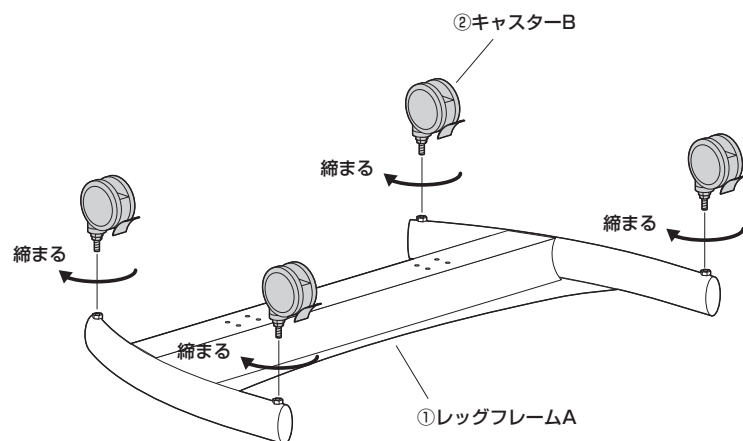
取付け穴断面図

2. キャスターをロックします。

※ロックするとキャスターの車輪とボルトが固定されます。

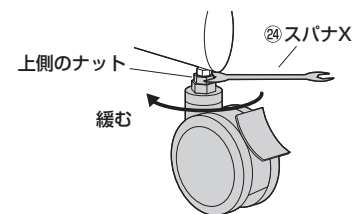


3. レッグフレームを裏向きにしてキャスターを取付けます。

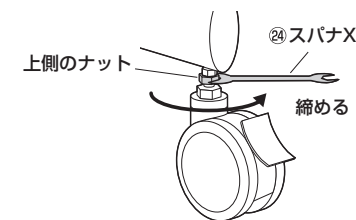


4. キャスターをスパナで締めて固定します。

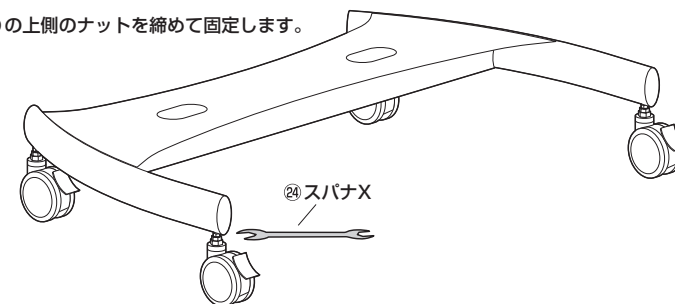
①接地していないキャスターの上側のナットを緩めてキャスターを下げます。



②上側のナットだけを締めて固定します。

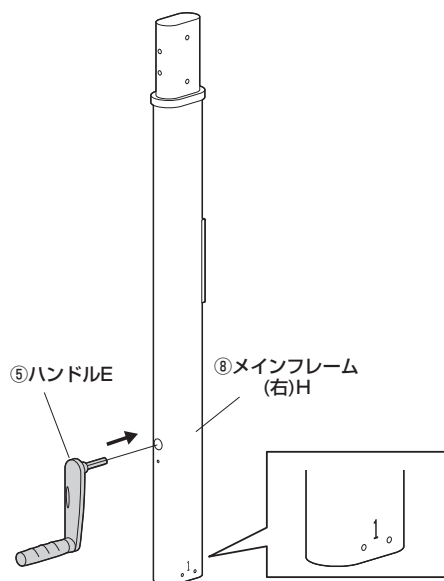


③残りの上側のナットを締めて固定します。

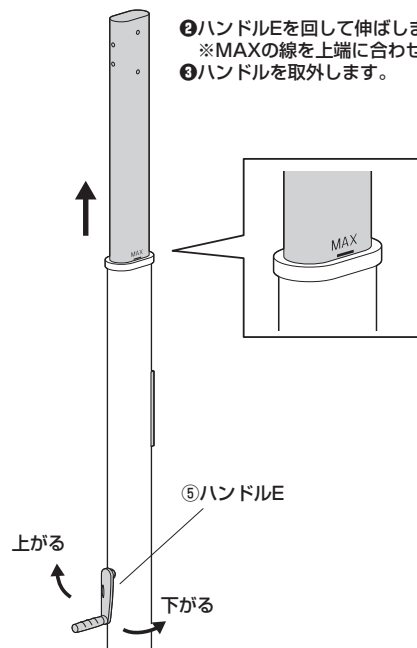


5. メインフレーム(右)を伸ばします。

①メインフレーム(右)HにハンドルEを差込みます。

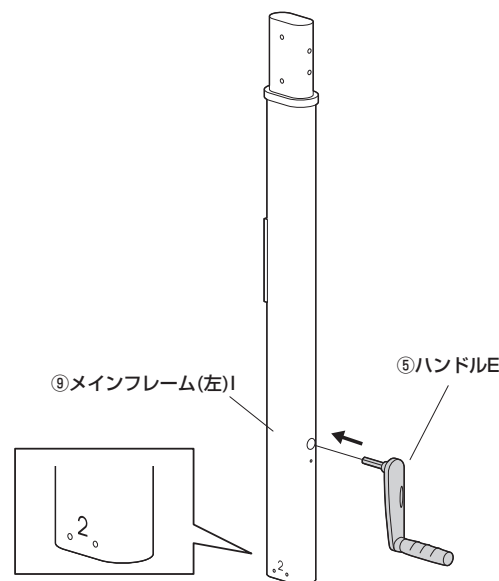


②ハンドルEを回して伸ばします。
※MAXの線を上端に合わせます。
③ハンドルを取外します。

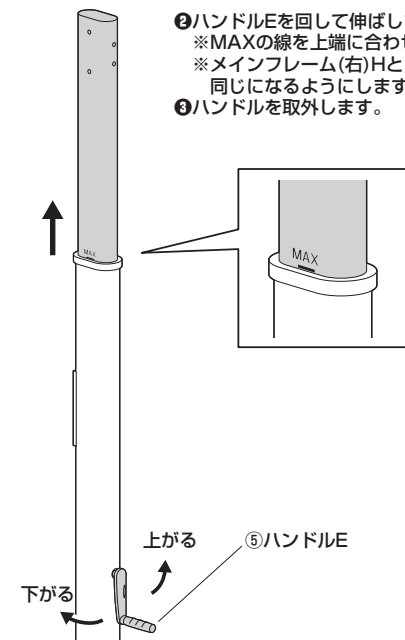


6. メインフレーム(左)を伸ばします。

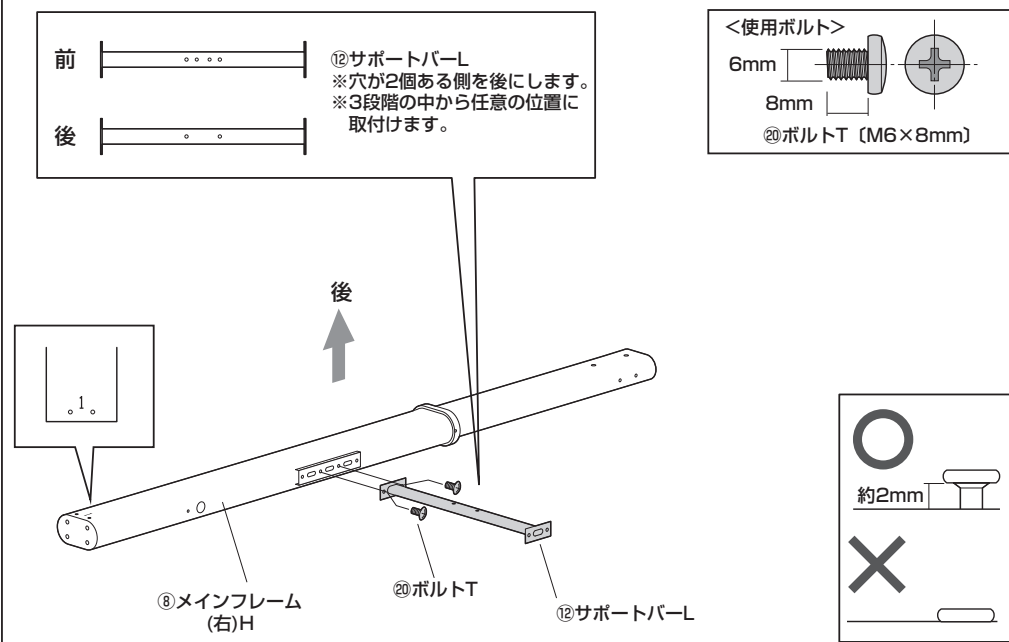
①メインフレーム(左)IにハンドルEを差込みます。



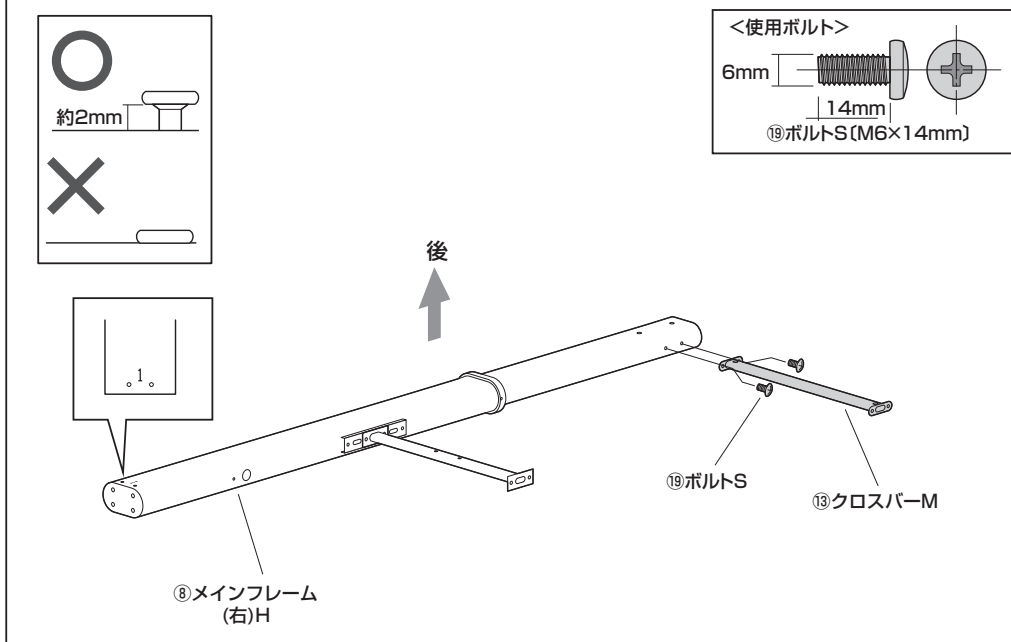
②ハンドルEを回して伸ばします。
※MAXの線を上端に合わせます。
※メインフレーム(右)Hと(左)Iが
同じになるようにします。
③ハンドルを取外します。



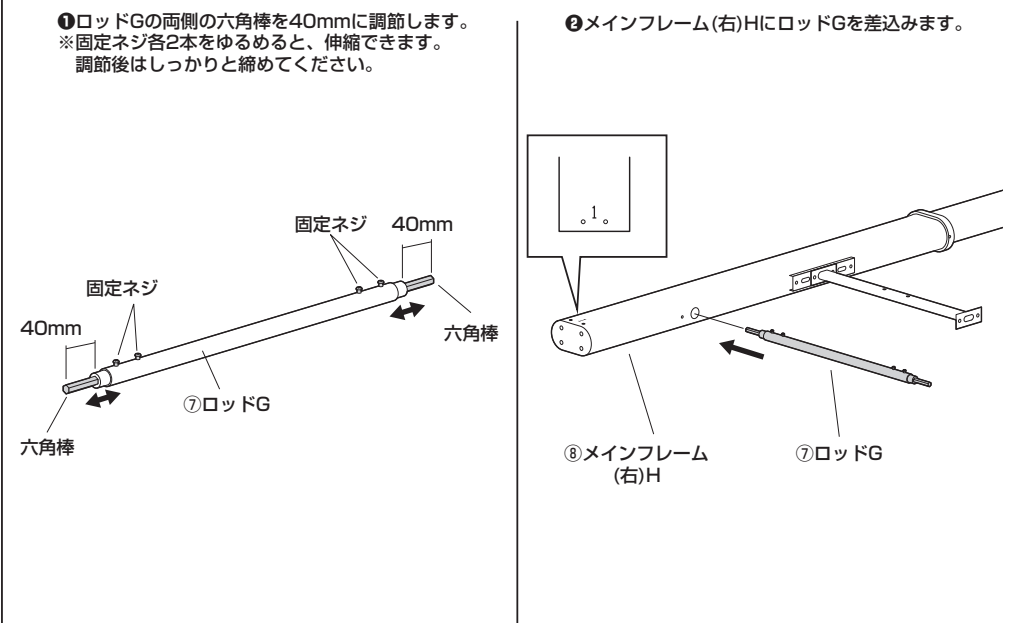
7.メインフレーム(右)にサポートバーを取付けます。



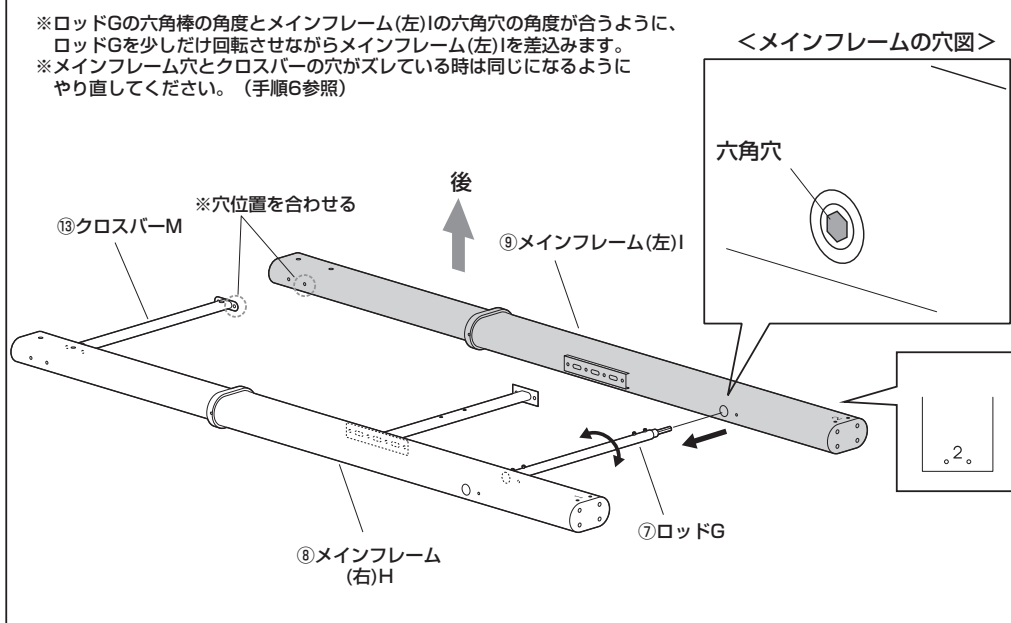
8.メインフレーム(右)にクロスバーを取付けます。



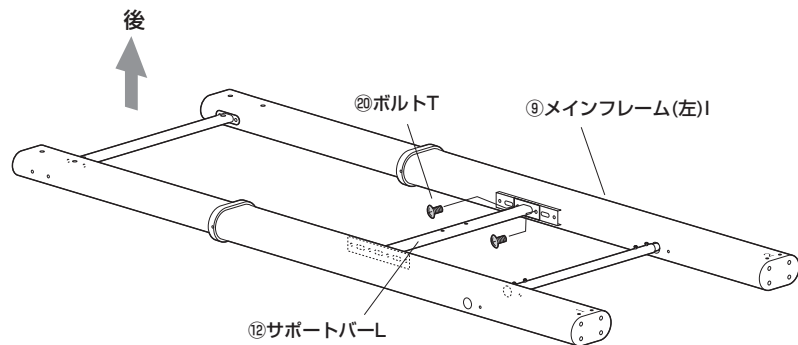
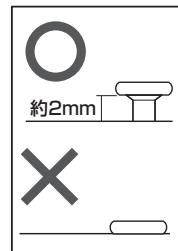
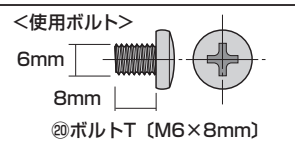
9.メインフレーム(右)にロッドを差込みます。



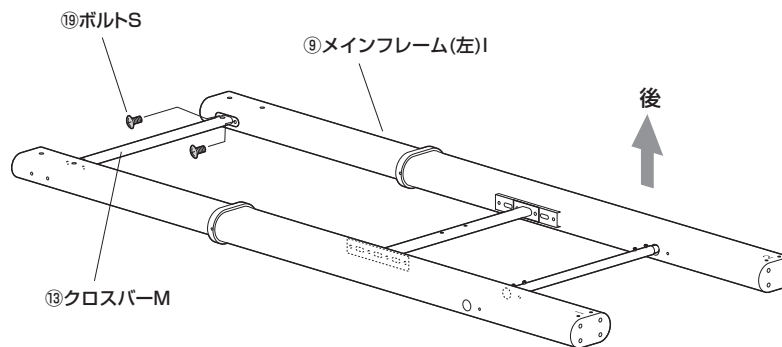
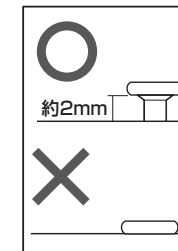
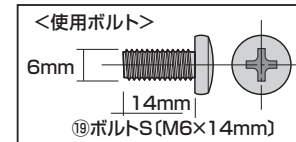
10.メインフレーム(左)にロッドを差込みます。



11.メインフレーム(左)にサポートバーを取付けます。

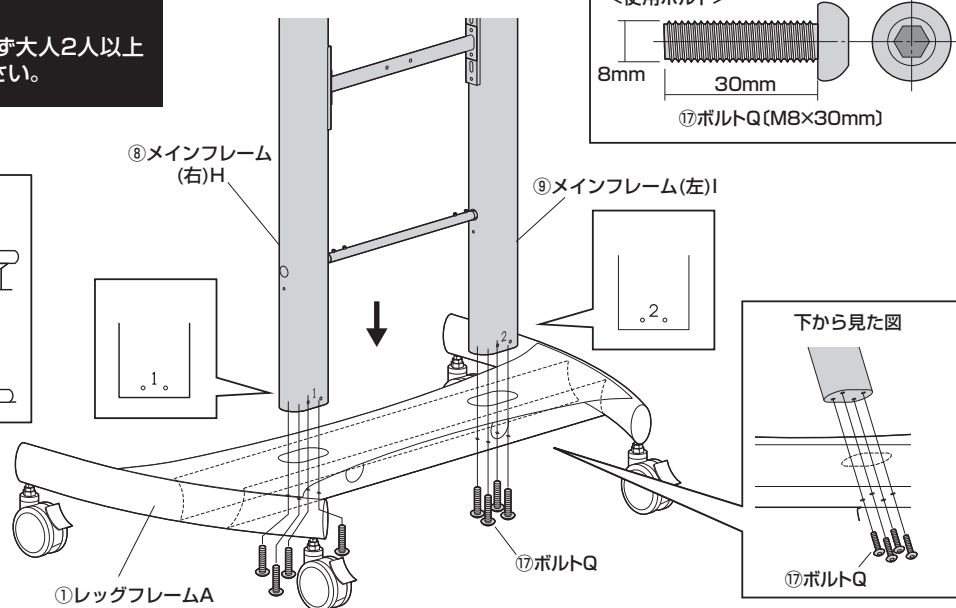
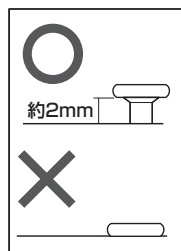
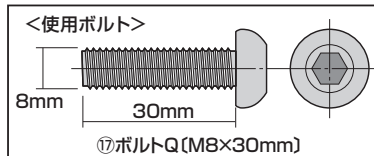


12.メインフレーム(左)にクロスバーを取付けます。



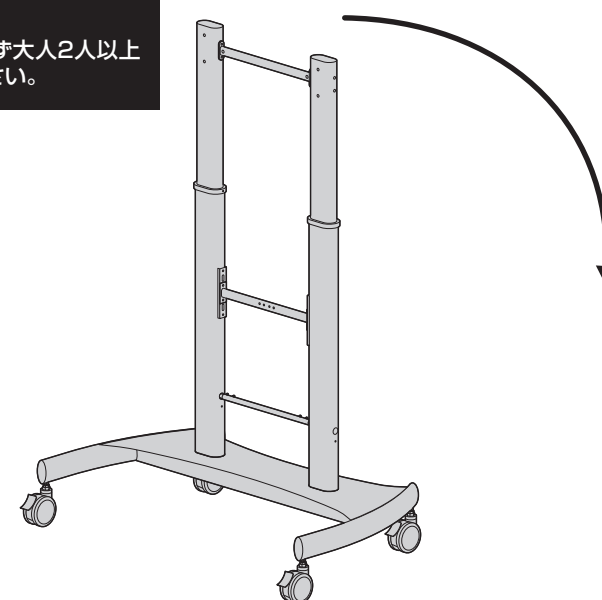
13.レッグフレームにメインフレームを取付けます。

<注意>
この作業は必ず大人2人以上で行ってください。

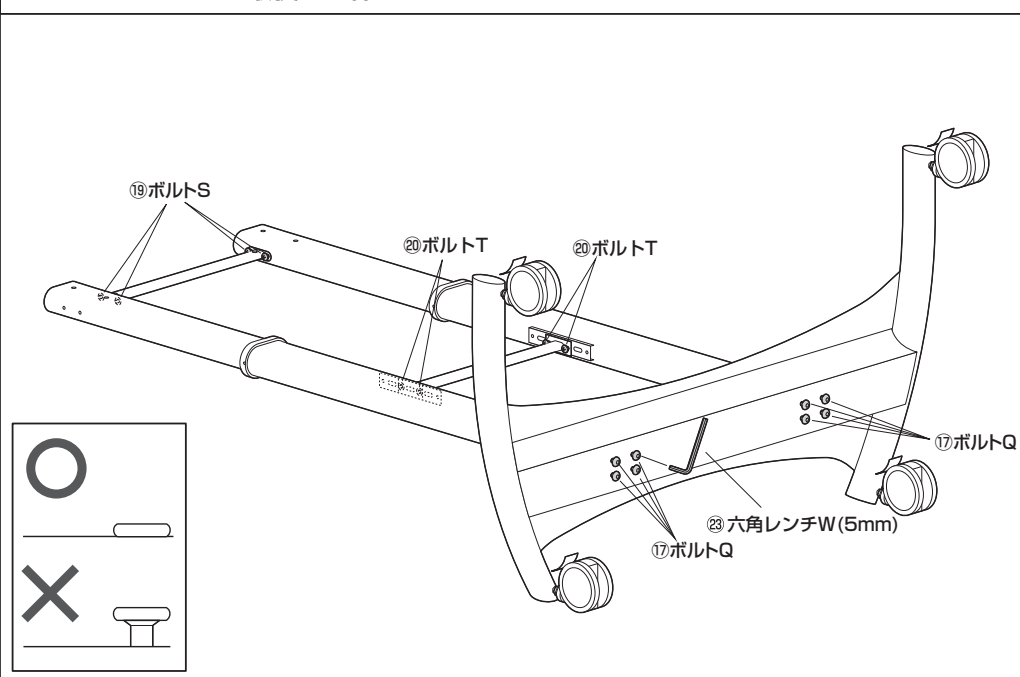


14.後に倒します。

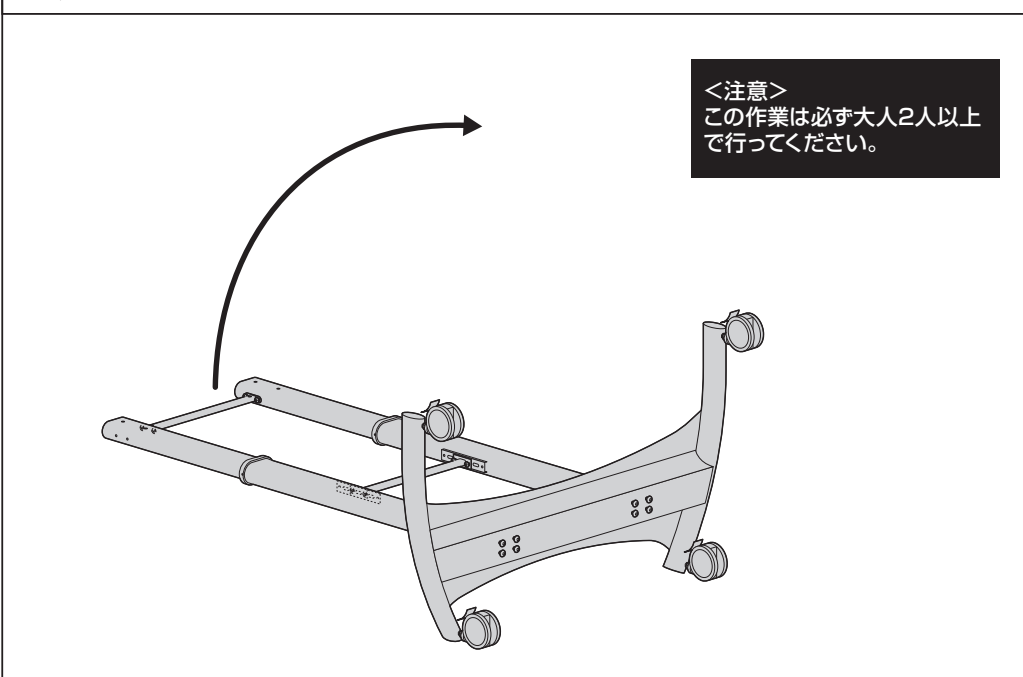
<注意>
この作業は必ず大人2人以上で行ってください。



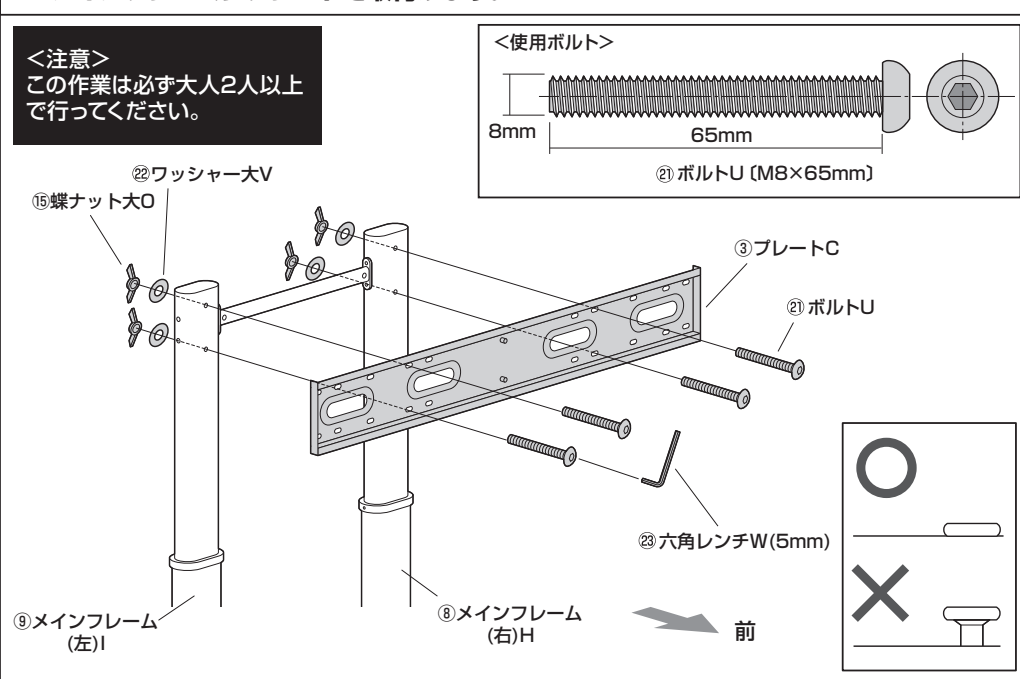
15. ボルトQ、S、Tを最後まで締めます。



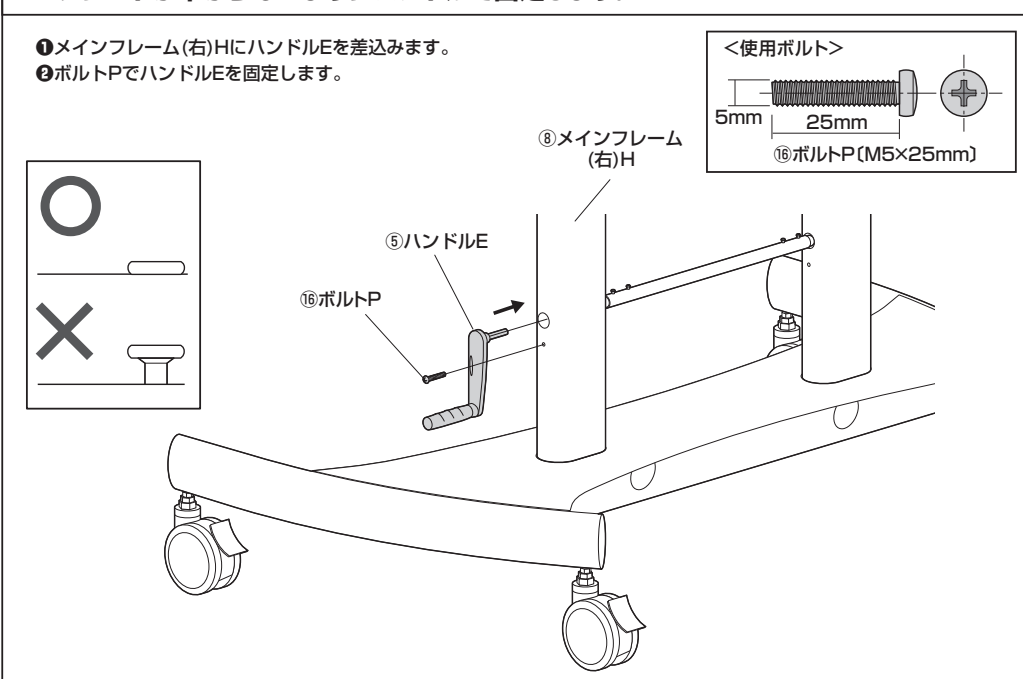
16. 起こします。



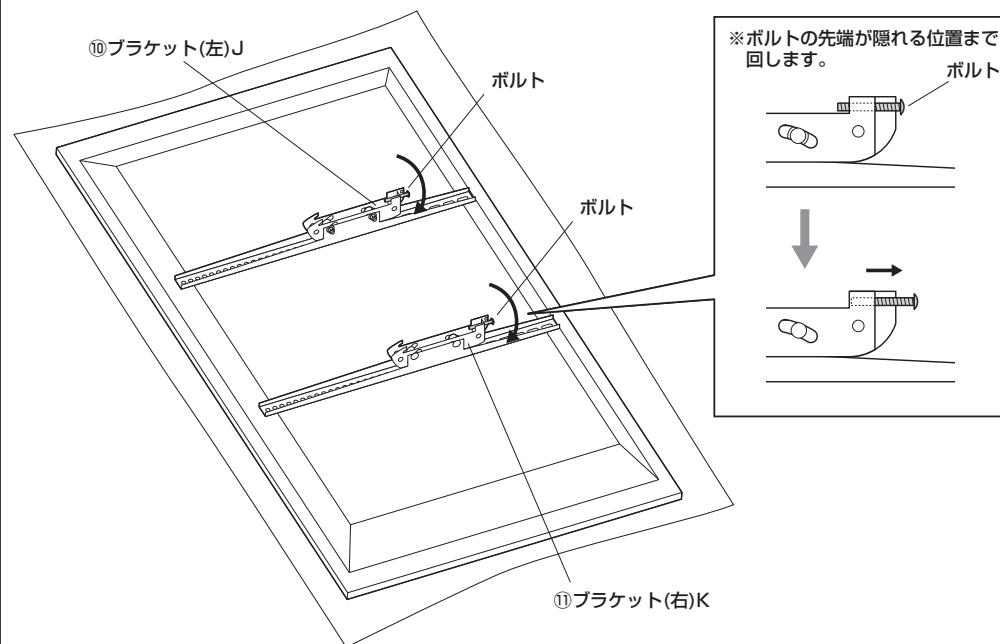
17. メインフレームにプレートを取付けます。



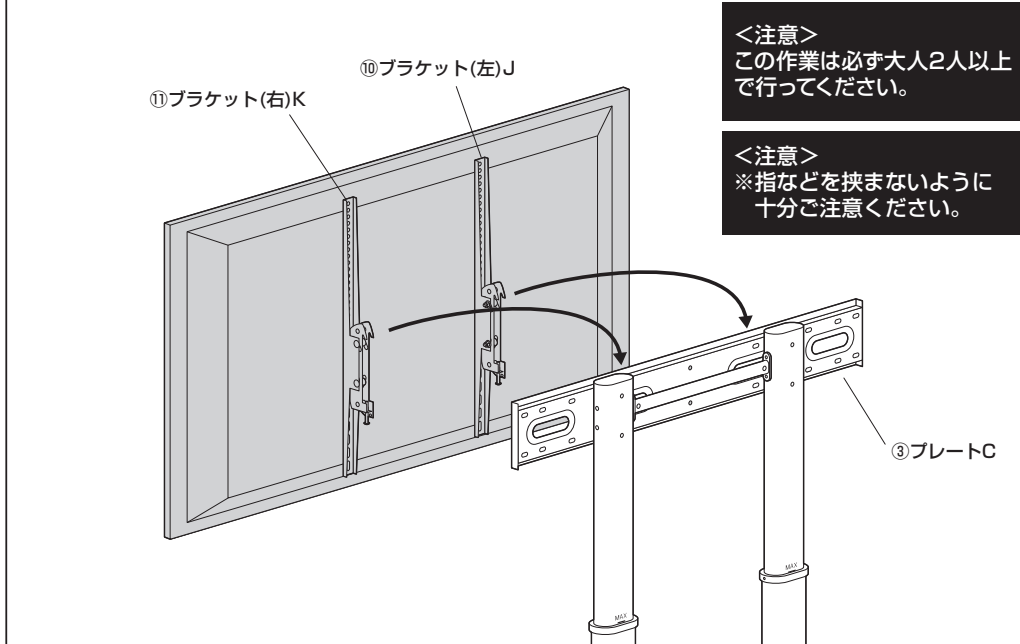
18. プレートが下がらないようにハンドルで固定します。



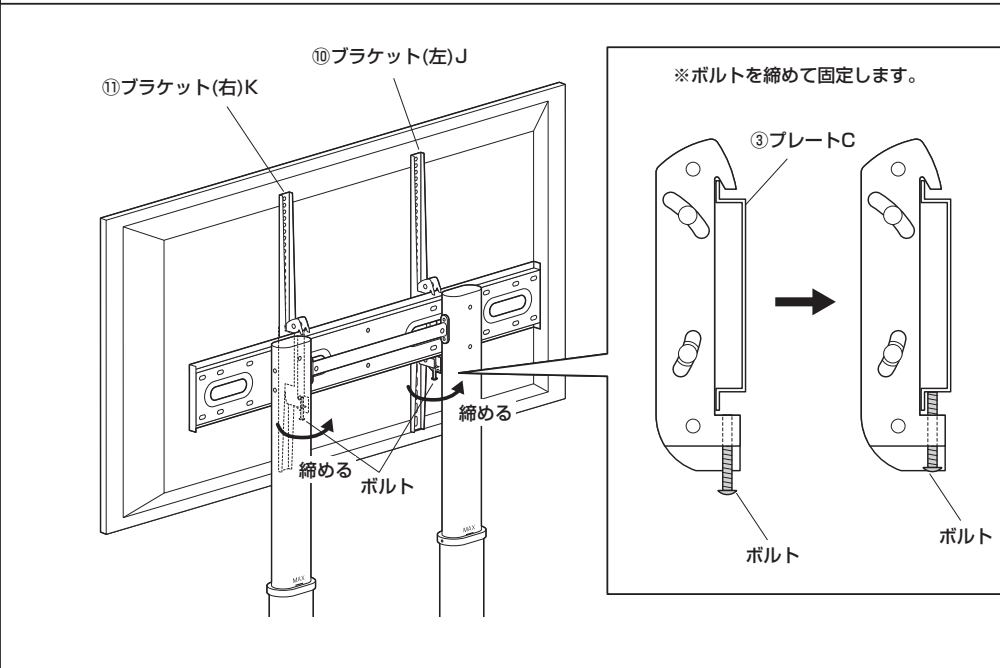
19.ブラケットのボルトを調整します。



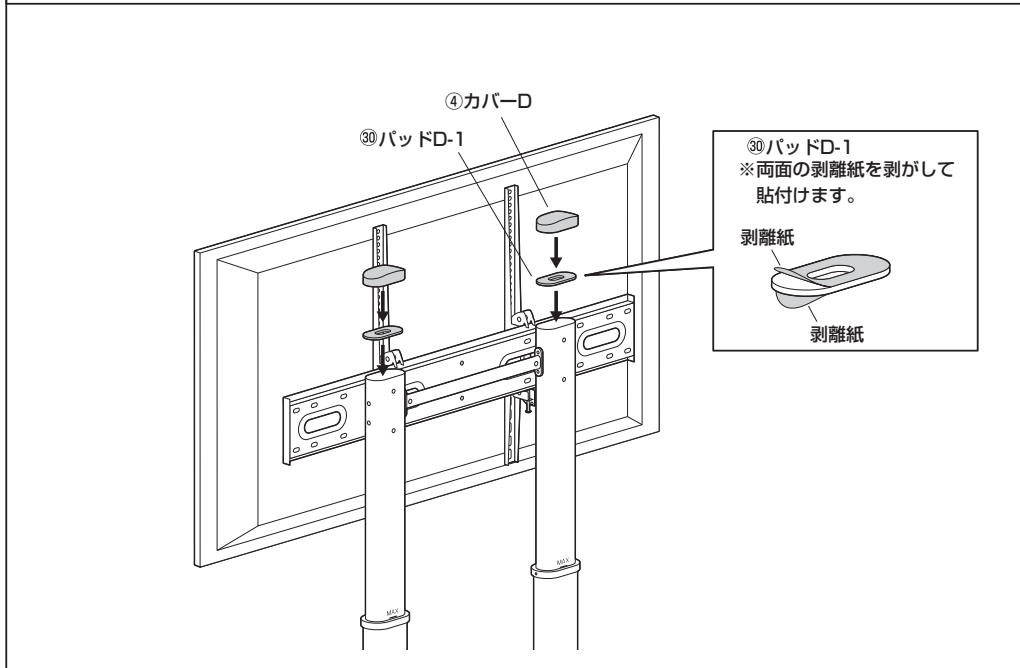
20.プレートにテレビを取付けます。



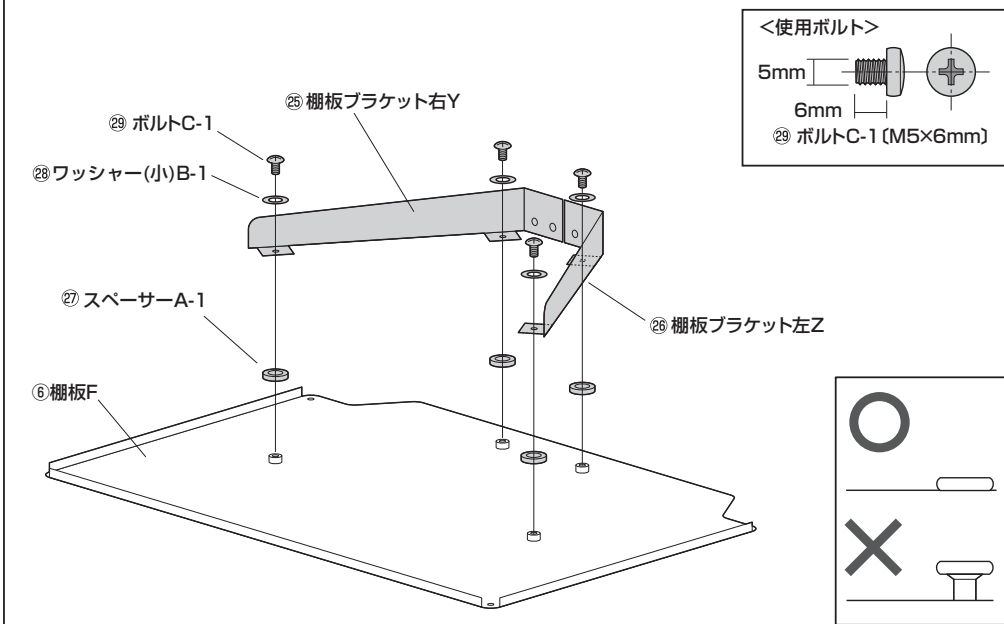
21.ブラケットを固定します。



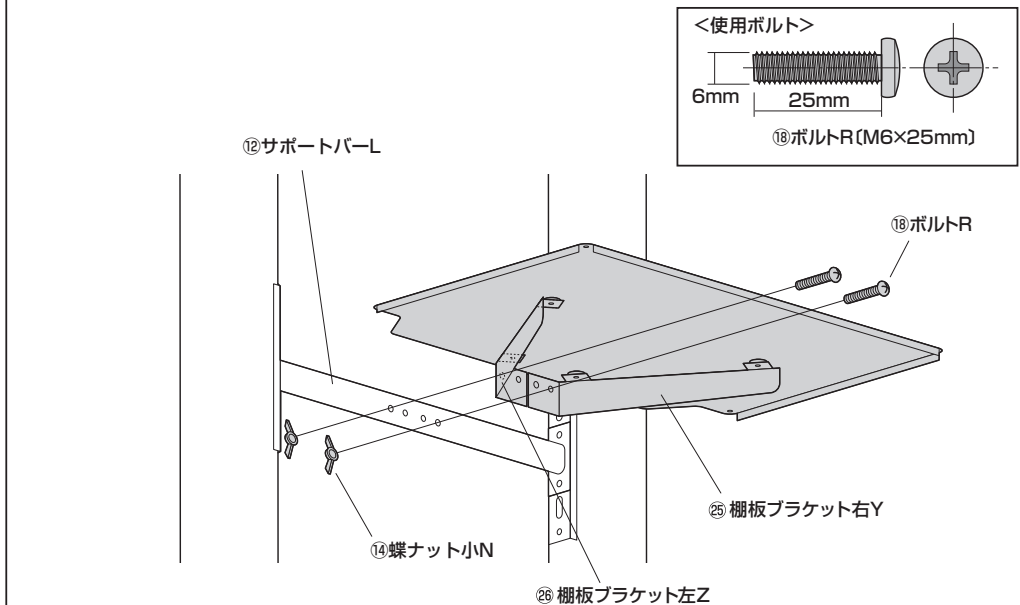
22.メインフレームにカバーを取付けます。



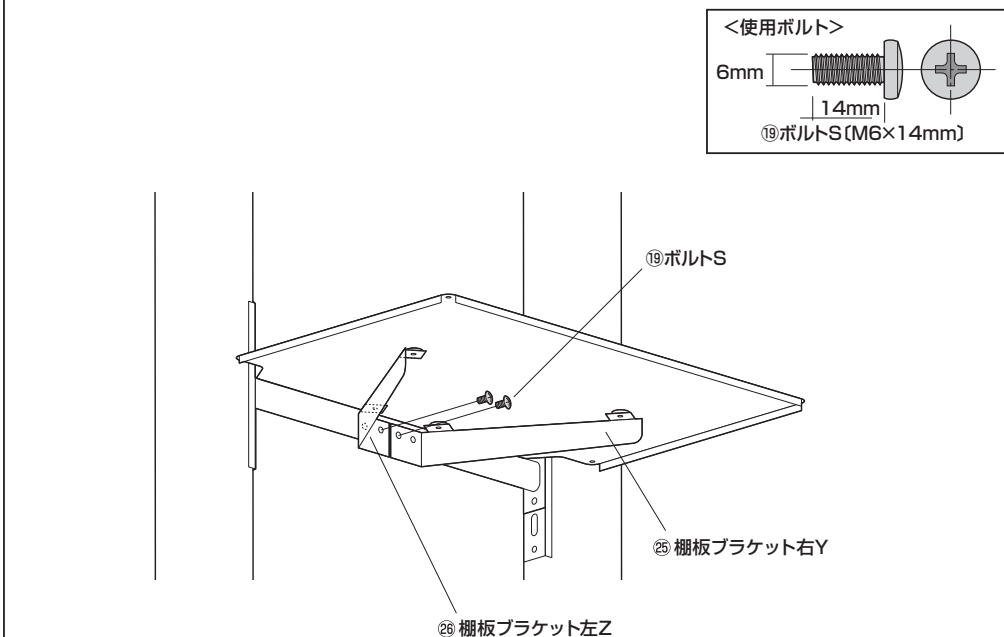
23.棚板に棚板ブラケットを取付けます。



24.サポートバーに棚板を取付けます。

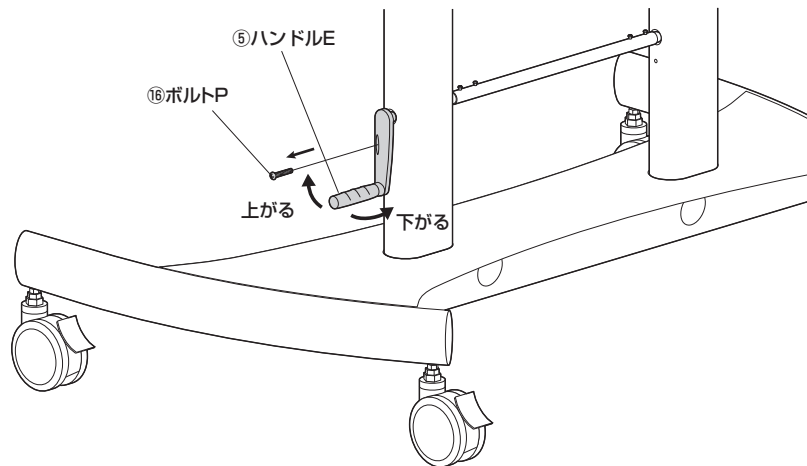


25.棚板を固定して完成です。



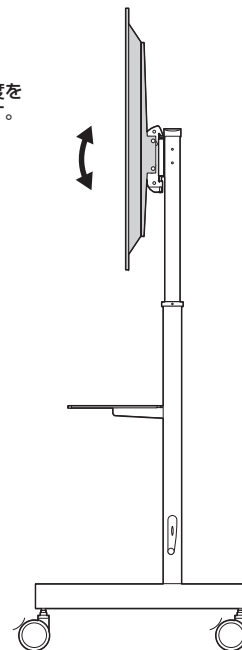
高さの調節方法

- ① ボルトPを取外します。
- ② ハンドルEを回して高さを調整します。
- ③ ボルトPでハンドルを固定します。



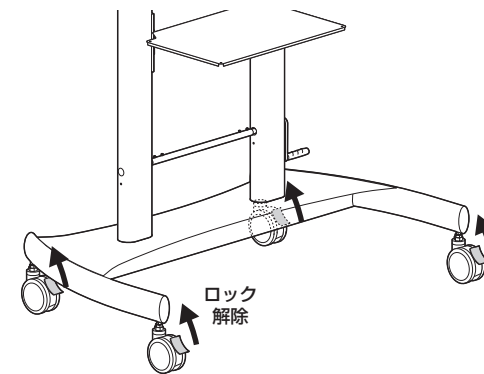
角度の調節方法

※テレビを動かして角度を
変えることができます。



移動時のご注意

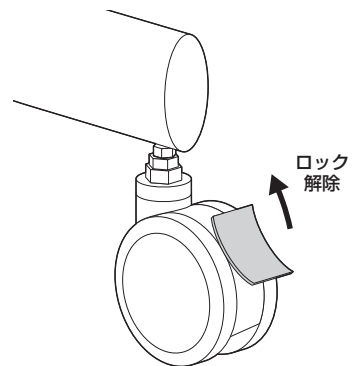
移動する場合はキャスターのロックを解除してください。
ロックを解除しないで移動させようとすると、キャスター
が緩んで転倒し、ケガや破損の恐れがあります。



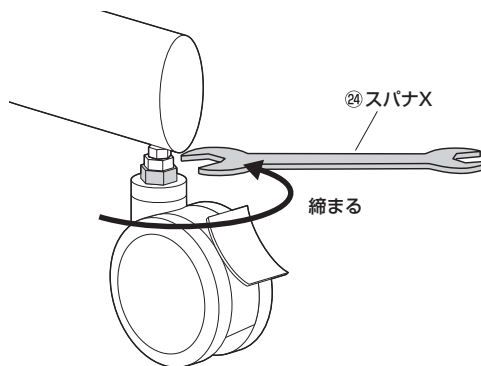
キャスターのメンテナンス方法

ご使用中にキャスターが緩む場合があります。
定期的にし締めを行ってください。

- ① ストッパーを上げて、キャスターのロックを解除します。



- ② キャスターのナット部分をスパナで締め付けます。



使用上のご注意

- 可動部分で指などはさまない様に注意してください。
- 本製品の耐荷重を超えるテレビは取付けないでください。
- 本製品を振動のある場所に設置しないでください。
- 用途以外で使用しないでください。
- 部品が外れたままで使用しないでください。
- ボルト・ネジ類がゆるんだまま使用しないでください。
- 本製品を分解・修理・加工・改造はしないでください。
- 本製品に強い振動や衝撃、無理な力を与えないでください。
- 本製品を高温・多湿となる場所や、ホコリや静電気、油煙の多い場所で使用・保管しないでください。
- 本製品を水などの液体で濡らさないでください。また、濡れた手で触れないでください。
- お子様には本製品や付属品を触れさせないでください。
- 本製品のお手入れをする場合には、ベンジンやシンナーなどの揮発性有機溶剤が含まれているものは使用しないでください。
- 本製品の故障、またはその使用によって生じた事故や直接、間接の損害については弊社はその責を負わないものとします。あらかじめご了承ください。

以上の点に注意して取扱ってください。

製品に関するお問い合わせ

製品の品質管理には細心の注意を払っていますが、万一、不都合な点や製品に関するお問い合わせなどございましたら、お問い合わせの販売店までお気軽にご相談ください。